

2024年2月26日号 循環経済新聞 7面 掲載

3曜日)

週刊循環経済新聞

(第3種郵便物承認)

第1670号

新たな製品・発想の開発へ

日本シーム MIRAIL Labo を設置

リサイクル機器の設計・製造・販売を手掛ける日本シーム(埼玉県川口市、木口達也会長、☎048・298・7700)は、昨年12月25日、新たな発想・製品の開発拠点として「MIRAIL Labo(ミライラボ)」の稼働を開始させた。製品の検証・試験・デモンストレーションだけでなく、コミュニケーションだけにとどまらず、学

リ(変革) 変革の準備)の他、大会議室・小会議室(モニターを完備)、ウェブ会議用の個室スペース(ネットワーク設備を完備)、3階は、サンブルテスト・研究開発フロアとなっていて、テスト機・デモ機(他に各種計測機器を設置している。現在はアルカリ洗浄や脱墨処理等の洗浄関連の製品の開発・試験・検証を行っている。

3階はコミュニケーションスペースとなっていて、80~100人程度収容可能なオープンスペース(150㎡)のプロジェクトを完

備)の他、大会議室・小会議室(モニターを完備)、ウェブ会議用の個室スペース(ネットワーク設備を完備)、3階は、サンブルテスト・研究開発フロアとなっていて、テスト機・デモ機(他に各種計測機器を設置している。現在はアルカリ洗浄や脱墨処理等の洗浄関連の製品の開発・試験・検証を行っている。

3階は、サンブルテスト・研究開発フロアとなっていて、テスト機・デモ機(他に各種計測機器を設置している。現在はアルカリ洗浄や脱墨処理等の洗浄関連の製品の開発・試験・検証を行っている。

3階は、サンブルテスト・研究開発フロアとなっていて、テスト機・デモ機(他に各種計測機器を設置している。現在はアルカリ洗浄や脱墨処理等の洗浄関連の製品の開発・試験・検証を行っている。



MIRAIL Labo外観



テープカットの様子

追いつかない状況となり、さらに次世代装置の開発を追究したいという思いからMIRAIL Laboの設置を決めた。

木口会長は「MIRAIL Laboでは新たな製品を開発するだけでなく、『仕事』と『学び』の両方を目的で設置している。この場所から独創的な新しい取り組みが生まれ、皆に生き生きと働いてもらいたい。MIRAIL Laboの設置に先駆けて昨年10月には組織横断型の業務統括部とタスクフォースを立ち上げた。タスクフォースではコミュニケーションスペースを活用したヨガ教室やディスカッション、地域の一般の方を対象としたオープンファクトリー等さまざまな企画が立ち上がっている。一見仕事とは関係のないことと思えても学べることは多い。そうした人間力の向上にも役立ててもらいたい」とMIRAIL Labo設置の経緯を語った。

繊維用破碎機の取扱を開始 ファー・イースト・ネットワーク 材料が絡みつかないのが特徴



破碎機

村井健児社長、☎03・5919・4380)は、繊維用の破碎機(Pierre社製

(ベルギー)を開始した。下動すること絡みつかない。破碎機のベア(幅450mm)は、材料を自動で供給する。ベアの下部も掃除できるようになっている。ふわふわの繊維質の材料を巻き込みながら、圧縮して破碎しやすくなる。ローリにはセン



り、その日から5年が経過していない。そのため、法第14条第5項第2号イに規定する法第7条第5項第4号ニに該当することになった。法第14条の3の2第1項の規定(第1号該当)により許可

準)に違反したことに よって罰金刑が確定した。法第14条の3の2第1項第1号に該当したため、今回の処分を受けることになった。

焼却禁止違反で 収運業許可を取消 (三重県)

三重県は1月31日、中部産業(津市、寺家直史社長)の産業廃棄物(伐採木や野火焼却を確保)の収運業許可を取消した。このことが法第14条の3の2第1項の規定(第1号該当)により許可

タイヤ工業
アシ

医療用品メ
イヤ工業)
尾浩紀社長
・282
は、アシ
「DARW
akobe

シスト
eclude)